



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (小学校・算数)

(小学校学習指導要領(H29告示)解説算数編を基に作成)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 数と計算			乗法 p144 イ(ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。	除法 p189 イ(ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。	分数の加法、減法 p246 イ(ア) 分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えること。	分数の乗法、除法 p288 イ(ア) 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えること。
	発表や話し合い 意見整理 問題解決の過程やその結果を図や式で表現し、表示して加筆しながら発表する。発表画面を保存し、共有して複数の発表内容を画面上で動かしながら解き別別に分類する。					
B 図形				平面図形の面積 p210 (ア) 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。	平面図形の性質 p252 (ア) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。	対称な図形 p293 (ア) (前略)…図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりすること。
	個に応じた学習 L字型、凹字型などの図形を画面に表示し、補助線の位置を変えるなど試行錯誤を重ねながら、面積の求め方を考える。 思考を深める学習 プログラミング教材を活用して図形を描き、その図形を動かして他の図形と重ねたりして、図形の性質について考える。 調査活動 身の回りにおける対称な図形や点対称な図形を見つけて撮影する。					
C 変化と関係(1～3年)				伴って変わる二つの数量 p215 イ(ア) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。	平面図形の性質 p256 イ(ア) 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導くこと。	
	表現・制作 発表や話し合い 基本図形の面積の公式をどのように導いたかプレゼンテーションソフトでまとめ、発表する。					
D データの利用	絵や図を用いた数量の表現 p94 ア(ア) もの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすること。	簡単な表やグラフ p126 (ア) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察すること。	表と棒グラフ p168 (ア) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察し、見いだしたことを表現すること。	データの分類整理 p222 (ア) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察すること。	円グラフや棒グラフ p273 (ア) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。	データの考察 p306 (ア) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。
	思考を深める学習 ものの絵を画面上で拡大・縮小したり、動かして並び替えたりすることで数えやすくする。 表現・制作 表計算ソフトなどを活用して、データを入力して表やグラフを作成し、プレゼンテーションソフトを活用して、考察とともにまとめる。 思考を深める学習 表計算ソフトなどを活用して、様々な値を入力し、グラフを変化させることでグラフの特徴について調べる。					

p327

文章を読み取り、数量の関係を式を用いて表すことが難しい場合、児童が数量の関係をイメージできるように、児童の経験に基づいた場面や興味ある題材を取り上げたり、場面を具体物を用いて動作化させたり、解決に必要な情報に注目できるよう文章を一部分ごとに示したり、図式化したりすることなどの工夫を行う。

P328

空間図形のもつ性質を理解することが難しい場合、空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取図や展開図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。

思考を深める学習

個に応じた学習

教師がプレゼンテーションソフトなどで児童生徒の興味ある題材を取り上げたり、シミュレーションソフトを活用して立体や図形を児童に動かせたりすることで、数量の関係や空間図形の特徴をイメージさせる。

p328

データを目的に応じてグラフに表すことが難しい場合、目的に応じたグラフの表し方があることを理解するために、同じデータについて折れ線グラフの縦軸の幅を変えたグラフに表したり、同じデータを棒グラフや折れ線グラフ、帯グラフなど違うグラフに表したりして見比べることを通して、よりよい表し方に気付くことができるようにする。

表現・制作

個に応じた学習

表計算ソフトなどを活用して、データを入力して表やグラフを作成させ、考察させる。

思考を深める学習

個に応じた学習

作成した表に様々な値を入力し、グラフを変化させることでグラフの特徴を分かりやすくする。